

桜川文芸

俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

住んでゐる此処がまほろばさくら咲く

鈴木 たか子

空の雲動けば動く花辛夷

小林 啓治

花散るや苔むすまの忠魂碑

萩原 勅彦

S.Lと言ふくろがねに散る桜

藤田 凡鐘

一面の麦の青さや夢ひとつ

小林 フク

彼岸桜出会ひ頭と言ふ出会ひ

三代 みちよ

合格やうなづき合へる黄水仙

若色 寿美女

ぼうたんの咲いても淋し夕かな

仁平 房女

亡き夫の声に目覚むる春の夢

金田 とう女

ふたりゐて話のはづむ日向ぼこ

渡辺 いし

きりかぶのぬくもり受けて路の臺

入山 ひろ子

水ぬるみ日に日に忘れものをする

上野 吉江

客帰り老婦日永をもてあます

永瀬 ちい

曇天をぐいと押し上げ白木連

細谷 充女

若き日をたぐり寄せつつ更衣

萩原 きしの

【茂山俳句会】

春雷の一喝遠く夕晴る、

向後 礼子

リサイクル出来ない齡春埃

泉 健作

水琴窟ほどよく誘ふ春の雨

吉原 秀子

お下がりは少し大きめ桃の花

鈴木 ノブ子

くろがねのおん目やさしく甘茶佛

宮本 芳江

在りし日の声きこえさうな句碑の春

田崎 信子

平凡が好き春が好き八十五

鶴見 菊江

山葵田のすでに流れのほとばしり

海老沢 幸子

大寺の厨子の闇より甘茶佛

海老沢 静夫

女医さんの引つ越してくる蝶の昼

井坂 洋子

末黒野に鼻欠け地蔵あらはなり

松崎 いま

花祭り天上天下に甘茶かけ

大関 くに

雲流る一期一会の春の空

植田 祥雲

庭滝の流れに弾む藪椿

今井 繁子

お彼岸会傾きし墓供花もなし

竹林 てる

しばらくは乾く暇なし甘茶佛

飯山 昭

【二般投稿】

ランドセル孫の笑顔が金メダル

匿名 希望

遠く来て丸岡城の夕桜

木下 善信

短歌

【二般投稿】

年毎に羽数ふやせる白鳥にますみの池は

やすらぎの里

古山 孝

奈良七重七堂伽藍八重桜九重の十重に甘茶に

木下 善信

俚謡

【さくら俚謡会】

孫の成長祈りて仰ぐ美空泳ぐや鯉幟

岩瀬 きみ子

二度と逢えぬと別れて来たが消えぬ心に

逢えぬ夢

つく志 輝美

揺れる日米普天間シュワブ蹴く総理の断

末魔

田 哲人

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268

広報 さくらがわ